

研究室紹介

大宮研究室は、平成15年に発足したばかりの新しい研究室です。今年で3年目を迎えています。大宮研究室では、建物火災に代表される火災安全工学に関する研究を実施しており、現在、卒研究生11名、大学院生14名が日夜研究に励んでいます。その研究成果は、日本建築学会、日本火災学会などで積極的に発表されています。

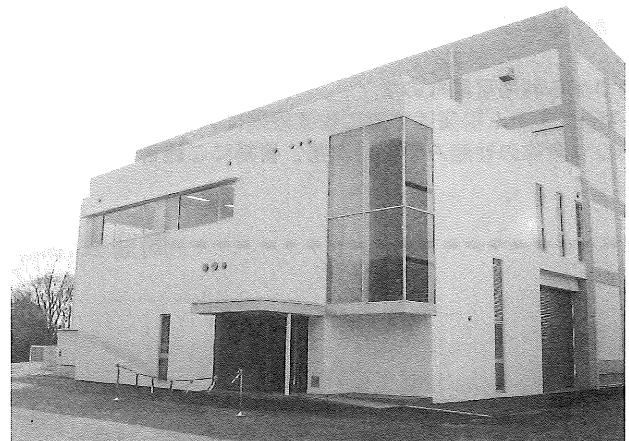


東京理科大学では、平成15年度に文部科学省の新規事業である21世紀COEプログラムに「先導的建築火災安全工学研究の推進拠点」を申請し採択されました。この「21世紀COEプログラム」の目的は、世界トップレベルの大学と伍して教育及び研究活動を行うことができる大学を築き上げることです。採択されるには、これまでの研究・教育の実績が不可欠であったわけです。

東京理科大学理工学部建築学科では、世界的に評価される火災研究・教育を川越先生、若松先生、戸川先生、重倉先生らが伝統的に行っており、大宮研究室ではその伝統を引き継ぎ、本プログラムの活動の一旦も担い、国際シンポジウムや教育プログラム、セミナー開催などを積極的に実施しています。

最近の主な研究活動の場は、平成17年3月に竣工した“東京理科大学火災科学研究センター実験棟”です。この実験棟は21世紀COEプログラムに採択されたことを機に建設されたものです。

実験棟では、スプリンクラー作動時の区画内火災性状モデリング、米国WTCテロ火災でも使用された避難用車椅子の実用性に関する避難能力、市街地火災時の火災旋風に関する都市防災研究等、火災安全工学に関し幅広く研究を行っています。



東京理科大学火災科学研究センター実験棟

大宮先生略歴

- 1996年 東京理科大学大学院理工学研究科建築学専攻博士後期課程修了。博士（工学）
同年東京理科大学理工学部建築学科助手
- 1998年 建設省建築研究所研究員・主任研究員
- 2001年 国土交通省所管独立行政法人建築研究所主任研究員
- 2003年 東京理科大学理工学部建築学科講師
- 2005年 同助教授

東京理科大学建築学科 同窓会ネット (NAA-WEB) 発足!

来春、在学生と卒業生をつなぐ新しいカタチのネットワーク、「NAA-WEB」が立ち上がります! 理工大理工学部建築学科限定で、在学の学生と社会人である卒業生のコミュニティを形成するまったく新しいネットワークシステムです。これまでお送りしている会報等の情報を大幅にバージョンアップするとともに、フォーラム形式でOBや学生が積極的に参加できる仕組みとなります。ぜひご期待ください!

■どんなネットワークなの?

NAA-WEBは、完全登録制のインターネット上のコミュニティサイトです。利用するOBおよび在校生の皆様は、サイトに自分の情報を登録し、自分の個人ページを持つことが出来ます。個人ページから自分のホームページやブログにリンクを張ったり、簡単なPRを行うことが可能です。

コミュニケーションは主にフォーラムと呼ばれる掲示板を通して行います。フォーラムは様々なカテゴリーに分かれており、建築学科全体という総合的なカテゴリーから、在学生限定のフォーラム、設計事務所系のフォーラム、研究室単位のフォーラム等、皆様が積極的に利用出来るように、多くのフォーラムが設けられます。また、フォーラムは自分で新しく作ることも可能です。1972年度卒業生フォーラムや、〇〇サークルフォーラムなどOBや在校生問わずイベントの告知や募集等、自由に設定することが出来ます。

また、学内やNAAのイベント告知等様々なコンテンツも予定しています。

■NAAに参加して出来ること。

NAA-WEBは卒業生・在校生は全員参加できます。有料会員は卒業生を対象とし、在学生は完全に無料で利用が可能です。在学生と卒業生(社会人)にとってのメリットとは、上記にあるようなフォーラムを通じたコミュニケーションはもちろん、アルバイト情報や求職・転職情報、外注情報、求職情報、オープンデスク情報等のリクルートネットとしての利用です。在学生にとっては、OBとのネットワークを持つことは就職時に有利ですし、卒業生にとっては求職やイベント告知・案内を明確なコミュニティに発信することができます。また、会員情報はデータベースとして検索できるため、同級生同士の交流を超えてOB同士の仕事上の情報ツールにも利用可能です。

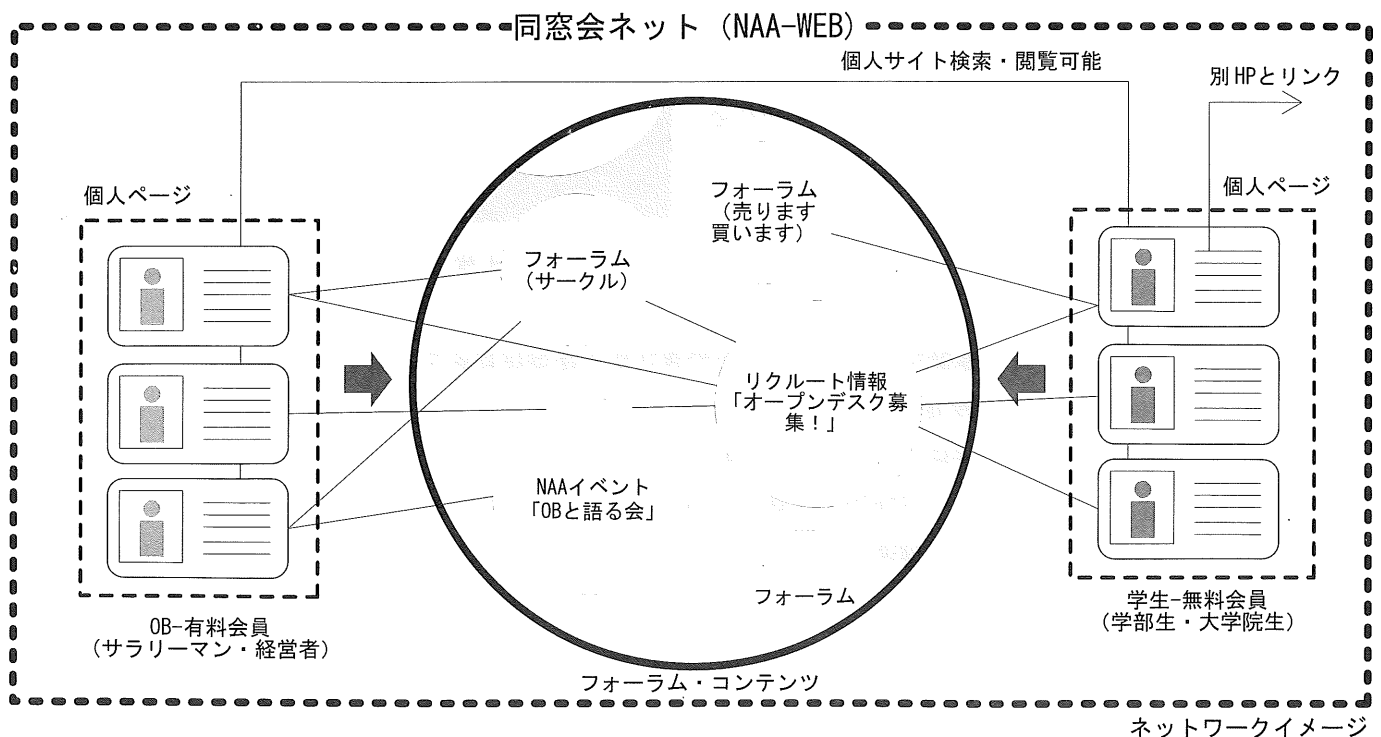
■NAA-WEBの目標

野田建築会は、現在4000人を誇る大きなコミュニティになっています。しかしながら有料会員は200名と厳しい状況にあり、会の運営を大幅に見直す必要があります。このネットワークを通して、卒業生・在校生の皆様が野田建築会を広く知っていただくとともに、有料会員になって頂き、運営をサポートして頂くことがWEB化の大きな目標です。

WEBによって会員の皆様にご利用頂くことで、広告収入等が見込まれます。最終的には有料システムを撤廃し、皆様に無料でご利用頂けるようになることを目指します。

■いつから利用可能なの?

NAA-WEBシステム構築はすでに作業段階に入っており、2006年3月を目処に準備を進めています。有料システムの方向性や、コンテンツ全体の仕組みが整い次第、皆様にご報告いたします。



総会後の懇親会に出席

平成17年度の工学部建築学科同窓会組織「築理会」の総会が5月14日（土）に神楽坂の理窓会館3階で開催され、招待されていた総会後の懇親会に野田建築会会長として菊地が出席しました。

三松新会長をはじめとする新役員及び築理会メンバー、また、平野先生ほか3名の教職員ゲストの方々と飲食をしながら親しく会話を交わし懇親を深めることができました。

懇親会は17時から20時までの3時間、立食のパーティとしては長丁場、少々疲れましたが充実した気持ちで最後まで同席させていただきました。懇親会には約35名の同窓生が出席し、卒業年度毎に参加者全員が近況報告を交えながら挨拶し、学生時代の話しを織り交ぜながら個性溢れる話が紹介され、盛り上がりのある懇親パーティとなりました。築理会の役員・学年幹事は国家公務委員の方が多く、そのネットワークを上手に活用しながらアクティブに同窓会を運営しているよう感じました。

合冊名簿打合せ兼役員交流会を開催

9月6日（火）の18時30分から神楽坂の理窓倶楽部において、合冊名簿第3号発刊の打合せも兼ねた交流会を開催しました。

築理会から三松会長、林、石神両副会長、大岩事務局長、田中名簿委員長及び佐野広報委員長の6名が、野田建築会からは市川事務局長、五十嵐事業部長、齋藤会計部長、山田名簿部会委員及び会長の菊地の5名が出席しました。



既存データの修正、卒業生・修了生の就職先・住所調査及びデータ打ち込み、広告募集及び製作等の作業や名簿完成までのスケジュールについて打合せを行い、名簿完成は3月中旬末を目標に、個々の作業はそれぞれ実施、3月初めにデータを統合し名簿ページの出力を行うことを予定している。

名簿関連では、「名簿DBの陳腐化を防止し精度の向上に対する取り組み」、「ゼネコン等の大口広告とは別に個人経営の会社等の広告を増やす方策」などについて意見交換を行いました。

築理会では、比較的大きな企業を対象に、所属同窓生に依頼して理科大卒業生の名簿データを収集する取り組みを行ったとのこと。

今年、4月に施行された個人情報保護法の影響で企業の人事担当部署から直接、情報の提供を受けることができず、個人レベルのネットワークによるデータ収集となり、担当者はかなり苦労されたようです。

野田建築会においても地道な収集活動の継続的な実施を必要としており、早急に具体的な施策を検討し実施に移したいものです。

同窓会活動の活性化という観点から、若い世代の同窓生との交流及び活動への参画、現役学部生・大学院生との交流、終身会員制の功罪等についても意見交換を行いました。また、野田建築会からは「NAA Web」に対する取り組みについて紹介しご意見をいただくとともに、今後のこの取り組みにおける連携をお願いしました。短い時間ではありましたが、有意義な交流が図れたように思われます。今後は、役員レベルの交流だけでなく、いろいろな切り口での同窓生の交流会を持ちたいと考えています。

同窓会活動の活性化に向けた新たな取り組み

野田建築会では同窓会活動の一環として、昨年12月から現役生を交えた拡大役員会を野田校舎で開催しています。昨年12月に初回を今年6月に第2回を開催しましたが、年2回程度の開催を予定しています。この取り組みの狙いは、研究室毎に選出していただいた学年幹事の方々と交流を通じて、現役生に理工学部建築学科に野田建築会という同窓会組織があることと、その活動内容を知っていただくとともに、同窓会組織の充実や活動の活性化に対する支援を仰ぎ、将来に渡って同窓会活動の一翼を担っていただく下地作りにあります。

拡大役員会には、研究室毎に学部4年生、修士1年生及び2年からそれぞれ選出していただいた学年幹事の方々が出席しています。現状では、こちらからの活動報告が中心となり、突っ込んだ意見交換ができているとはいえませんが、功を焦らず地道な取り組みを積み重ねて行くことが同窓会の発展に繋がるものと考えます。

現在、野田建築会は活動の停滞期に差し掛かっているように感じます。現役生の学年幹事並びにOBの役員・学年幹事の方々、今後ともご協力・ご支援お願いいたします。このままでは、野田建築会が危ない！

今年度NAA賞受賞者 胡 震洪君(中島硝子工業株式会社 勤務)からの便り

入社して半年経ちました。将来中国の企業と仕事をしていくため、私は品質管理部で製品について学び始めました。現在日本製品の品質の良さは世界NO.1と言われていています。私がなぜNO.1と言われているのか、知りたかったため、そのことを常に念頭におき、仕事を始めました。

今まで経験したことのない仕事の内容、仕事の手順、仕事のルールを一から先輩に教えていただきました。最初はなかなか仕事がうまくできませんでしたが、特に毎日の仕事は同じことの繰り返しで、前職と比べると、無駄な部分が多いと思うこともありました。

しかし時間が経ち、仕事に慣れるにつれて、品質管理の重要性が徐々に理解できるようになりました。品質重視、品質改善、顧客満足度と言うサービスの管理まで徹底していることに感動しました。

現在中国事業が順々に進んでいます。私は2回中国に行ってきました。中国の同じ業界と比べると、中国のほうは規模が大きいのですが、品質の厳しさと管理の水準は日本の企業がまさっています。

しかし改善すれば、将来中国の製品は日本でも、そして世界でも通用することができると私は信じています。

日本で学んだ管理方法を中国のメーカーに伝え、より良い品質のものを日本に輸入して、日本と中国の間でビジネスが展開できるようにこれから頑張っていきたいと思っています。

名簿情報の取り扱い

野田建築会の名簿情報は同窓会の運営・活動に必要な限りにおいて利用するもので、利用目的の範囲を超えて個人情報利用或いは同窓生以外の第三者に対して情報を提供することはいたしません。個人情報(住所、勤務先、電話番号)の名簿への掲載を希望されない方は、その旨、野田建築会事務局宛にご連絡ください。

平成17年度 会費納入のお願い

現在、東京理科大学野田建築会会則に則り、平成17年度普通会員の年会費(平成17年4月1日から平成18年3月31日)¥3,000円を徴収しております。

当会の発展と活動の進展を期すために、本年度会費を是非とも納入いただくようお願いいたします。

つきましては、会費納入のための郵便振替用紙を同封致します。こちらの手違い等ですでに納入されておられる方に同封された時は、御容赦下さいますようお願いいたします。

なお振込みの際、封筒の宛名ラベルに記載されているID番号の通信欄への記入をお願い致します。

銀行口座からの振込み先

振込先 : みずほ銀行(みずほ普通預金)
店番号 : 731(清瀬支店) 口座番号 : 8040529
名義名称 : 東京理科大学野田建築会 会長 菊地 利武

なお銀行振込みの場合は、送金者氏名を記入する際、名前の前にID番号をご記入下さい。

例えば、ID番号:0055、名前:野田太郎の場合は、「0055野田太郎」とご記入ください。

平成17年10月20日
東京理科大学野田建築会会長 菊地 利武



発行 東京理科大学野田建築会 〒278-8510 千葉県野田市山崎2641

<http://www5a.biglobe.ne.jp/~sut-naa/index.html>

郵便振替 口座番号 00130-9-27644 東京理科大学野田建築会